

平成 22 年度第 2 回下水道クイックプロジェクト推進委員会
指摘事項に対する報告

項目	委員会指摘事項	対応
進捗状況 関連	苫前町については、これから気温が上昇したときの N-BOD が気になるが、なにか対策を行うのか。(高橋委員)	気温上昇とともに硝化が促進され pH の低下が確認されているが、流入変動による過曝気の原因と考えられるため、少なくとも季節変動による流入変動に応じたブロワの制御を講じ、硝化の抑制を図ることを検討。
	遠軽町の進捗状況報告について、当該施設は地下配置に限定しているわけではないので、施設を地下に配置した理由(寒冷地であるため地下に据えた等)をコメントとして記載した方が良い。(田中委員)	理由を整理し技術評価書及び技術利用ガイド等に反映する。
クイック 配管の 技術評価	従来工法の単価の目安等を示し、これから採用する自治体が簡易的に比較できるように技術利用ガイドへの記載を工夫して欲しい。(佐伯委員)	技術利用ガイドの資料編に建設コストの検討結果を含む社会実験結果を記載した。(技術利用ガイド 資料 1)。 [P 3 1 ~ 3 5]
	露出配管設置後の取付管の接続に対する留意事項を示した方が良い。(佐伯委員)	技術利用ガイドに取付管の接続について記載した (§ 1 4)。 [P 2 1]
	紫外線影響評価におけるクラック発生は、表面だけということ深い位置には影響がないとの見解か。また、衝撃に対する表現はなくて良いのか。(大迫委員)	技術利用ガイドの資料編に塩ビ管の紫外線影響評価について記載した(技術利用ガイド 資料 5)。 [P 4 4]
	適用範囲に重要な幹線ではないこととあるが、幹線のうち重要なものでないことという意味か。檜原村の事例は、幹線であるように見受けられる。明確に表現した方が良い。(田中委員)	技術評価書及び技術利用ガイドの適用範囲「重要な幹線でないこと」を「重要な路線でないこと」に修正した。 [P 2 ; 技術利用ガイド]
	適用範囲の管材について、塩化ビニル管とポリエチレン管となっているが、社会実験でのポリエチレン管の適用は高密度ポリエチレン管であり、単純にポリエチレン管との表現で良いのか。(長岡委員)	技術評価書及び技術利用ガイドの適用範囲に、 <u>高密度</u> ポリエチレン管と明記した。 [P 2 ; 技術利用ガイド]

項目	委員会指摘事項	対応
クイック配管の技術評価	ポリエチレン管の温度伸縮については、たわみで吸収するとあるが、夏場の引張りについては、どう対応するのか。管材に対する熱膨張率の表をどこかに入れておいて欲しい。(楠田委員長)	ポリエチレン管は引張に対しても管の弾性で対応可能であり、また、参考として技術利用ガイドに線膨張係数と計算方法を記載した。[P 18]